



DX通信 Vol.5

都道府県別デジタル度が紹介されています

鳥取県	⇒	19位	／	島根県	⇒	23位
岡山県	⇒	14位	／	広島県	⇒	25位
山口県	⇒	38位				

野村総合研究所（NRI）の2021年11月21日付けのレポートで、都道府県のデジタル度を定量的に評価する指標（DCI-デジタル・ケイパビリティ・インデックス）を用いた都道府県別デジタル度（2021年7月推計）が紹介されています。

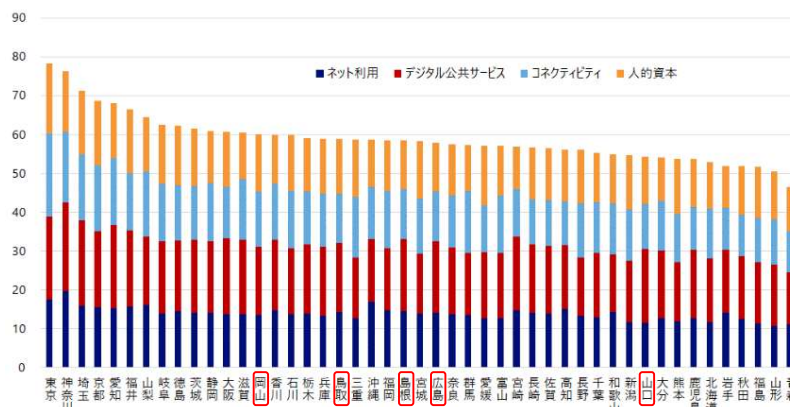
レポートによると「ほとんどの都道府県でDCIスコアが1年前から上昇している。特にこれまでデジタル化が遅れていた地方部の上昇度合いが大きく、結果として国内地域間のデジタル格差が縮小していることが判明した。」とあります。

◇ DCI（デジタル・ケイパビリティ・インデックス）とは

日本の都道府県別のデジタル度を可視化するために、NRIが2019年に開発した指標で、欧州委員会（EU）が開発しているDESI（デジタル経済社会インデックス）をもととし、NRIが全国を対象に実施した「日常生活に関する調査」と公的統計を組み合わせ作成されています

レポートによると「日本国内のデジタル格差が最も大きい領域はコネクティビティということになる」とあります。DCIを構成する4つの要素のうち、有線・無線通信インフラの整備度や市民が、PC・スマホ・タブレットなどの情報端末をどのくらい保有しているか等が反映される「コネクティビティ」の指標が向上するような対策を取ることが自治体のデジタル度の向上に寄与するものと考えられます。

図 都道府県別 DCI スコア (2021年7月)



出典：NRI（2021.11.21）『DCIにみる都道府県別デジタル度 ～2021年は国内地域間のデジタル格差が縮小～』
https://www.nri.com/jp/knowledge/report/1st/2021/cc/1122_1